

2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017-18 年度
国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー

藤中秀幸

GOVERNOR: Hideyuki Fujinaka
IWAKUNI CHUO ROTARY CLUB

「水と衛生月間」と 「世界ローターアクト週間」

2014年10月RI理事会は、3月を重点分野「水と衛生月間」としました。ロータリーは安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と研修を支援します。この重点分野の目的と目標に対してロータリー財団は以下のような形で支援します。

1. 地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善。
2. 持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域社会が自ら行っていくための能力向上。
3. 安全な水と衛生の重要性について、地域社会の人々の認識を高めるためのプログラム支援。
4. 水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

水と病気という観点から人々の衛生状態を守るためには、「水」を使うことが最も大切です。今、世界には衛生的なトイレや水設備が利用できない人が25億人います。そして、衛生設備や安全な水の欠如が原因となり、毎日1,400人の子供が命を落としています。石けんで手を洗い、排泄物に触れることがないよう

水洗トイレを設置し、衛生設備を改善することにより、また教育を通じて正しい衛生習慣を推進することで疾病の感染拡大を劇的に減少させることができます。

きれいな飲用水を利用できない人は7億4,800万人、アフリカの僻地に住む女性たちの中には毎日6時間かけて水汲みに行かなければならない人々がいます。家まで持ち帰ることができる量も限られ、この水は飲用に加えて、洗濯や炊事、家畜の為に利用することから、各人の衛生状態を保つための水の利用は後廻しになることが多くなります。水質の改善、安全な飲用水の確保には、井戸の設置や雨水の活用など家庭で安全な飲用水を得るための手段や水質改善の為に低コストの解決策を提供することが求められています。水や衛生設備の提供については、日本、世界各国においてたくさんの事例がロータリーショーケースにも取り上げられています。この月間に改めて実現可能な奉仕活動に挑戦していくことが必要です。

また、1993年RI理事会は、ローターアクトクラブ創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定し、各ロータリークラブには地元のローターアクトクラブとの共同プロジェクトや親睦活動に参加するよう呼びかけを行っています。参加することにより、ロータリアンはローターアクターから若いエネルギーや、新しいアイデア、労力を得ることができ、またローターアクターはロータリアンから深い知識や経験を学ぶことができます。現在、第2710地区には、7クラブ(広島分区4クラブ、山口分区3クラブ)60名のローターアクターが活動しています。最も大きな課題は会員の減少です。各提唱ロータリークラブはローターアクト活動を理解し支援していますが、将来の指導者を育成する観点からも、地区全体でローターアクトクラブを支援することが必要です。ロータリアンの皆様のご協力を心からお願い致します。

ロータリー：変化をもたらす



Contents

ガバナー月信 2018年3月号

ガバナーメッセージ.....1	2020-21 年度ガバナー予定者決定のお知らせ...5
酒屋が起した環境活動 ~水の衛生月間に思う~...2	「四つのテスト」に対する愚見6
2018 年国際協議会へ参加して3	次年度地区大会広告(尾道 RC)6
日韓親善インターアクト歓迎式・交流会の報告...4	会員増減・出席率(1 月度) 特別コラム7
第 10 期 RLI -2710 分科会研修パート 1 報告...5	新会員・物故会員紹介 文庫通信8



酒屋が起した環境活動 ～水の衛生月間に思う～

2017-18年度 国際ローター第2710地区 グループ8ガバナー補佐(西条RC) **前垣 壽男**
(西条 山と水の環境機構理事長)

東広島市西条は、日本の三大銘醸地の一つに数えられる日本酒の街です。昨年12月8日、日本イコモス国内委員会から日本の20世紀遺産の20選の一つに選ばれました。1999年、西条酒造組合の理事会で「環境をテーマにした地域貢献活動」について議論され、「西条 山と水の環境機構」がスタートしたのです。東広島市は全国的にも今だ右肩上がりに成長している街です。都市化が進むと必然的に高層ビルが建設され、パイルの杭が打たれば地下水の流れが変わります。また、昭和40年代後期から大気汚染、酸性雨、台風による塩害等で東広島地区の松の山は荒れてしまい、かつてのマツタケの一大産地は昔の話となりました。山を守る、地下水を守る、酒づくりを守る…との思いから、ヒアリング調査等、広島大学・中越教授を中心に組織、活動内容、資金等々を検討及び調査し、広島大学生を中心に企業や個人のボランティアを募集して、山陽本線西条駅北側の龍王山を年4～5回除伐などの整備をすることとしました。活動資金は西条酒の売り上げ(1.8L当たり1円)を拠出することで活動がスタートしました。

2002年2月9日～11日、東広島市で「第7回森林と市民を結ぶ全国の集い」に全国から1500名集合していただき、ボランティ

ア活動について議論し、「山の日」を作ろうと提唱して開催できたことは、当機構のスタートとしては最大の事業となりました。

広島大学 中越教授の主催する授業の一環としての山のグランドワークは、その他企業、市民のボランティア、西条農業高校等、官民一体となって、毎回150～200人くらいの参加者で和気あいあいで行っています。ロータリークラブからは手ノコ、ヘルメット等、消耗品の寄贈を賜り、スタート時は大変助かったものです。

また、毎年夏にはみどりの少年団を中心に間伐した材で炭を焼いて、子供たちと公園の川で炭の入れ替えをして水の浄化に利用したり、間伐した材をチップにして堆肥にし、酒米を作る田圃にすき込んだりしています。

我々の活動も広く認知され、環境省からも表彰状や環境白書で紹介されたり、創立10周年事業には、元千葉県知事・堂本暁子様を迎えて、龍王山広場で「里山と生物多様性」の題でご講演いただき、西条農業高校全校生、一般参加者含め、活発な野外討論会となったのも意義深いものがありました。日本の国土の70%は山です。山は水の水源です。山と海は川で繋がっています。みんなで山を守りましょう。

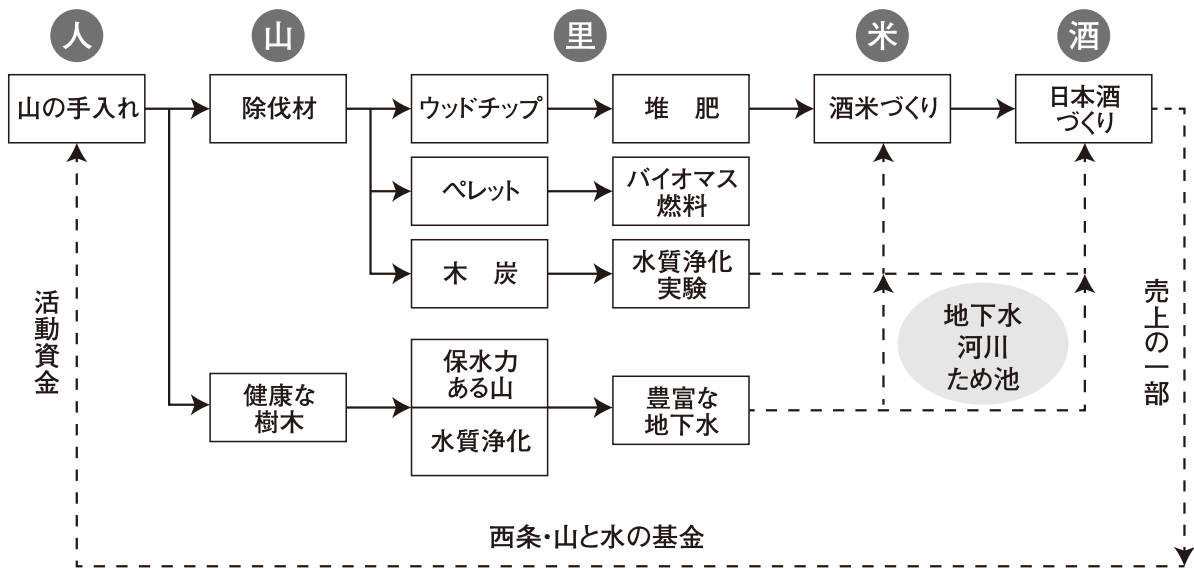


図:西条・山と水の環境機構における、人、モノ、お金の流れ



2018年国際協議会へ参加して

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト 吉原 久司

本年の国際協議会は1月14日から1月19日までの6日間にわたってサンディエゴ(米国・カリフォルニア州)のホテル「マンチェスター・グランド・ハイアット・サンディエゴ」で行われました。

私たち同期ガバナーエレクトが初日にホテルに到着する約1週間前から、田中作次元RI会長、小沢一彦元RI理事、斉藤直美RI理事、石黒慶一RI理事、三木明RI理事、北清治R財団管理委員、木下光一第3ゾーン研修リーダー、高野孫左エ門第2ゾーン研修リーダー、本田博己第1ゾーン研修リーダーの方々はホテルに入られ各種委員会やリーダー研修を済ませておられました。私たちがホテルに到着すると、皆様が玄関ホールに待っておられ、盛大に歓迎をして下さいました。ほっと一安心する時間でした。

14日は本会議でRI会長エレクトのテーマ「インスピレーションになろう」が発表され、一瞬の静粛の後、大歓声が起こり、ダンスが始まりました。さあ「インスピレーション」って何だろう? 私たち日本人がとっさに出てくる「ひらめき」ではないよなあと思いがら初日が終わりました。会議の形式はセッション別の本会議の後に分科会の形式で進みました。15日のセッションは①「ビジョンを掲げて導く」②「会員基盤のサポートと強化」と進み、RI会長エレクト主催夕食会、記念撮影会で終わりました。当地区からのR財団奨学生がお世話になるD1130(ロンドン地区)のガバナーエレクトMichael WrenさんとD1220(シェフィールド地区)のガバナーエレクトCheryle June Berryさんにお会いし、2人の奨学生をお願いしました。16日のセッションは③「若いリーダーの参加促進」④「ロータリートーク:リーダーシップの機会と責務」⑤「奉仕のために結び付く」ガバナーエレクトと配偶者の為の文化交流とネットワーキング⑥グランドマーチ⑦国際晩餐舞踏会。17日は⑧「私たち財団の世界的なインパクト」⑨「世界でよいことをしよう」の後に、同期で歩いて5分のシーフードレストランに食事に行きました。18日は⑨「強いブランドを築く」その後、今回初めての企画⑩「リーダーとの対話」で、最初、RI理事・石黒さん、次にRI財団管理委員・北さんとの対話を行いました。一言「日本のガバナーエレクト研修セミナー

(GETS)で仮免許、国際協議会で本免許、これから7月までに自分の地区に合うような車を選び、7月から運転を始めてください」との助言がありました。そして⑪「ガバナー配分予算に関する資格を理解する」⑫A Night in the Caribbean(カリブの夕べ)で終わりました。最後の19日は⑬「地区で変化を導く」⑭「協議会で学んだことを実践する」と進み、フィナーレとなりました。

この協議会で強く感じたのは国際性です。今まで国際ロータリーと名乗っていましたが、日本の中のロータリーとの自覚がありませんでした。しかし、世界の中の同期ガバナーエレクトは537名です。その中でわが日本のガバナーエレクトはたった34名でしかありませんが、その少数のガバナーエレクトの存在がキラリと輝いていました。ガガーリン大佐の地球を回ってみて「最初はわが国しか見えていなかったのが、次の日にはヨーロッパ大陸が見え、3日目には地球が見えるようになった!」の言葉のように…。

次に印象に残ったのは「国際ロータリーの最優先事項はポリオ撲滅」です。私たち同期ガバナーエレクトのガバナー年度がポリオ最後の感染者の年度となろう…。もし成功すれば人類は「天然痘」の次に感染症を克服したこととなり、現在使っている毎年数百億ドルの富を手に入れることとなろう! この瞬間を公共イメージ向上に使用し、さらなる会員増強に邁進していきたいと思っています。





2017-18年度国際ロータリー第2710地区・第3690地区 日韓親善インターアクト歓迎式・交流会の報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 インターアクト委員長 都志見 格

平成30年1月27日(土)に新山口ターミナルホテルにて35回目となる日韓親善インターアクト交流、ホームステイ目的の歓迎式典が開催されました。

韓国側から金時善(キム・シソン)国際ロータリー第3690地区インターアクト委員長をはじめとするロータリアン7名、顧問教師2名、インターアクター29名(女子18名、男子11名)、計38名が来日されました。

わが第2710地区からは、藤中秀幸ガバナー、吉原久司ガバナーエレクト、金子信バスターガバナーを含むロータリアン14名、顧問教師9名、インターアクター38名、計61名でお迎えしました。

15時より開会し、司会進行は本年度ホスト校である高川学園高等学校インターアクトクラブが担当され、両国国家斉唱、インターアクト・ソング斉唱で幕をあげ、まず藤中秀幸ガバナーが歓迎の挨拶をされました。藤中ガバナーからは、まず韓国からのお客様に対し、心からの歓迎の意を表され、続いてホームステイを受け入れていただいた当地区インターアクターならびにご家族、顧問教師の先生方に深く感謝する由の言葉を述べられ、この友好関係が末永く続くよう祈念し挨拶とされました。韓国側から国際ロータリー第3690地区総裁金湧振(キム・ヨンジン)様からの祝辞をインターアクト主席副委員長孫敏植(ソン・ミンシク)様が代読され、日本への感謝の気持ちと先の地区大会での触れ合いが大切な出会いとなった、インターアクターのみなさんにもこの機会を有効なものとして欲しいとの言葉を頂きました。次いで両国インターアクターによる歓迎の

言葉、挨拶が交換され、互いを理解することが世界平和につながるとの心強い内容のスピーチで、今回のホームステイへの期待の大きさを十二分に感じられるものでした。最後に日韓インターアクト委員長の挨拶でこの良好な関係が末永く続くことが確認され、歓迎式は閉会となりました。

閉会后、ホームステイペアリングの紹介で笑顔でハグする25組を拝見し、このインターアクト事業に関わられて初めての喜びを感じました。そして、全員で記念撮影をし、それぞれの移動となりました。

ロータリアン、顧問教師、通訳による交流会は、17時から場所を山口グランドホテルに移し、開催されました。通訳の方とアルコールのおかげで親睦はスムーズに進行し、吉原久司ガバナーエレクトは2次会へも参加していただき、感激しました。

翌日、新山口駅に11時集合の予定でしたが、前年度インターアクト委員長梶田滋様、次年度村上博志様、スポンサークラブの防府RCインターアクト委員長齋藤兼三様にも立ち会っていただき、結局11時半に全員集合となりましたが、無事お見送りできました。今回、インフルエンザによるホームステイ受け入れ直前拒否など、急なアクシデントを心配しましたが、高川学園高等学校の藤村幹男先生、林明寛先生のご尽力を中心にトラブルなく終了でき安堵しました。

訪韓旅行は朝鮮半島の危険な状況により中止となりましたが、35年もの長きにわたる友好関係が今後も続くことを祈るばかりです。





第10期RLI -2710分科会研修パート1 報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 次年度研修リーダー 金子 克也

本研修会は、2018年1月28日(日)、広島YMCA国際文化センター4階で、午前10時から即、6つの分科会会場に分かれ研修が始まりました。

各分科会場テーマは次の通りです。

- 分科会(1) リーダーシップの本質をつかむ
- 分科会(2) 私のロータリー世界
- 分科会(3) 会員を引き込む
- 分科会(4) R財団1 私たちの財団
- 分科会(5) 倫理と職業奉仕
- 分科会(6) 奉仕プロジェクトを創造する

受講生は各会場で、ディスカッションリーダー2名とタスクフォース1名のトリオの指導下に、1テーマにつき50分学習。午前中に2テーマ、昼食を挟んで午後には4テーマを学習。順次6つの会場を一巡しました。

午後4時30分からの全体会議では、藤中秀幸ガバナーの慰労・激励の挨拶、諏訪昭登RLI日本支部ファシリテーターによる4名の方への修了証授与、金子克也次年度研修リーダーの講評、次いで前田茂RLI-2710地区代表委員による日本らしい職業奉仕の世界への提案の発言をいただき、午後5時

予定時刻に無事終了。

今回はパート1で、基礎的なテーマでしたが、これらはロータリーの入門編とも思われることで非常に大切な所です。

RLI方式は、一般の講演と異なります。演者から聴衆への一方通行の音の流れではなく、ディスカッションリーダーの巧みな質問で、回答は次々と生まれ、話しが深く、また広くも高くなります。

本日のレッスンでは、日頃考えたこともないことに確固たる理由がある事に気づかされたり、他の受講生の意見の中にもたくさんの新発見があったことと思います。理解すれば、ロータリーは楽しくなります。

ロータリーと掛けて何と説く?スルメイカと説く。その心は、嚼めば嚼むほど味が出る。

当日の出席者総数は77名(他地区2名含む)、修了者4名、現在までのRLIの修了者数(地区)は17%に達しています。

しかし、従来開催されていた地区指導者育成セミナーは、2020年からRI行事でなくなります。当地区でもRLIの存在意義が一層高まります。ぜひとも、今後のRLIパート2、3への出席を御願ひ致します。

国際ロータリー第2710地区2020-21年度ガバナー予定者決定のお知らせ



防府ロータリークラブ

わき まさのり

脇 正典

2018年1月20日、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第14条14.020により2020-21年度ガバナー候補者として脇 正典氏(防府RC)を推薦し、その旨細則第14条14.020.6により地区内会員に公表致しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第14条14.020.10により脇 正典氏を国際ロータリー第2710地区2020-21年度ガバナー予定者として決定致しましたことをご通知申し上げます。

2020-21年度ガバナー予定者 略歴

- 所属クラブ/防府ロータリークラブ
- 生年月日/1945年3月2日 ●職業分類/幼稚園
- 学歴/九州大学大学院文学研究科修士課程国史学専攻修了
- 職歴/
 - 1977年4月 国立宇部工業高等専門学校助教授
 - 1987年4月 学校法人脇学園松崎幼稚園 園長
 - 1989年7月 学校法人脇学園 理事長
- 主公職/
 - (現) 山口県史近世部会 専門委員
 - (現) 山口県ユネスコ連絡協議会 会長
 - (現) 防府市国際交流団体連絡協議会 会長
 - 1983年 防府青年会議所 理事長
 - 1985年 日本青年会議所山口ブロック協議会 会長
- ロータリー歴/
 - 1986年7月1日 防府ロータリークラブ 入会
 - 1991-92年度 防府ロータリークラブ 幹事
 - 2003-04年度 防府ロータリークラブ 会長
 - 2008-09年度 RI第2710地区グループ3ガバナー補佐
 - ベネファクター、マルチプル・ボールハリス・フェロー(2回)
 - 第3回梁山功労者
- 著書/『日本近世の藩社会』東洋図書出版 2017



「四つのテスト」に対する愚見

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 岡田 幹矢

私はロータリーの「四つのテスト」を唱和する度、このままの文言でロータリーの看板として使い続けているのか、いつも疑問に思っている偏屈者である。

シカゴの実業家、ハーバード・J・テラーが四つのテストを作ったのは、大恐慌の最中の1933年のことである。これを基本政策として倒産した会社クラブ・アルミニウム社の再生に成功し、彼が国際ロータリーの会長を務めた1954-55年度に、その著作権を国際ロータリーに移譲した。爾来、ロータリーでは職業奉仕の「黄金律」として使われることになった。

上記はロータリアンなら誰もが知っておらねばならぬ物語である。

しかし、時代は変遷し、「四つのテスト」を唱和、実践すれば経営が再生するなんてことは考えられないし、また商取引の公正さを測る尺度としても現在の翻訳ではロータリアンの共鳴を得るとは思われないからである。

事はロータリーの「黄金律」に係る問題である。軽々に扱うべきでないことは充分承知している。しかし、ロータリーが「職業倫理」を高めようとしているのは承知しているが、単にキリスト教的倫理観だけで通用する程、現在の社会は単純ではない。

私のような意見が出ることも不可思議でなからう。諸賢のご叱正を期待したい。

因みに私なりに面白いと思った「四つのテスト」を二例紹介する。

1) パロディ版 「四つのテスト」

1. ほんまでっか
2. あんじょうせんとかかんで
3. なかよやりましょ
4. もうかりませ

パロディとして切り捨て難い、説得力が有る。

2) 四つのテスト

事業の立案企画、実行はこれらに照らしてから

1. 嘘、偽りはないか
2. 関係者すべてに公明正大か
3. 信用を高めてより良い関係を築けるか
4. 関係者すべてに有益か

一寸長く、くどくどしいが明解ではある。

以上

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会 in 尾道

2018.10 19 [金] 20 [土] 21 [日]

～輝こう ロータリーふたたび～

国際ロータリー第2710地区
2018-19年度ガバナー **吉原 久司** ホストクラブ **尾道ロータリークラブ**

地区大会事務局：〒722-0035 尾道市土堂2丁目7-11 広島銀行尾道支店2階 TEL: 0848-25-5378

1日目 10月19日[金] 記念ゴルフ大会【尾道うずしおカントリー倶楽部】

2日目 10月20日[土] 大会諸委員会/歓迎昼食会/会長幹事会/基調講演/
R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会/日韓交流パーティ【尾道国際ホテル】

3日目 10月21日[日] 本会議/記念講演会: 阿川佐和子氏/大懇親会【びんご運動公園】




賞品: アンデックス
スポーツサイクル1台



阿川佐和子氏 撮影: 伊木 功

国際ロータリー第2710地区 2017-18年度会員増減・出席率(2018年1月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初		当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会	
1	長門	88.40	25	25	4	1	1	
	下関	76.15	49	49	1	2	2	
	下関中央	82.60	31	33	6	2	0	
	下関東	75.05	54	58	3	5	1	
	下関北	89.27	43	44	0	3	2	
	下関西	82.45	35	35	1	0	0	
	計	82.32	237	244	15	13	6	
2	萩	94.82	57	56	0	3	4	
	萩東	98.04	22	23	1	1	0	
	美祿	80.99	24	23	0	1	2	
	小野田	80.06	35	37	3	3	1	
	宇部	94.30	46	47	3	2	1	
	宇部東	70.27	14	14	2	1	1	
	宇部西	90.37	53	53	3	2	2	
計	86.98	251	253	12	13	11		
3	防府	92.15	54	60	2	7	1	
	防府北	84.52	17	20	1	3	0	
	防府南	90.91	37	38	7	2	1	
	山口	88.25	50	53	4	6	3	
	山口県央	93.10	30	31	1	2	1	
	山口南	87.38	41	42	4	3	2	
	計	89.39	229	244	19	23	8	
4	光	93.95	44	53	0	9	0	
	周南西	87.81	55	55	4	2	2	
	徳山	93.94	46	48	1	6	4	
	徳山セントラル	95.39	24	26	0	3	1	
	徳山東	94.54	51	51	0	2	2	
計	93.13	220	233	5	22	9		

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初		当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会	
5	岩国	84.22	60	64	0	8	4	
	岩国中央	89.86	44	44	3	0	0	
	岩国西	86.15	59	62	4	3	0	
	柳井	100.00	33	32	2	0	1	
	柳井西	94.99	24	24	2	2	2	
	計	91.04	220	226	11	13	7	
6	広島	99.61	115	126	1	14	3	
	広島安芸	96.43	39	40	2	2	1	
	広島安佐	86.48	25	21	2	1	5	
	広島東	99.11	95	108	8	15	2	
	広島北	100.00	92	96	0	7	3	
	広島陵北	99.35	51	53	3	4	2	
大竹	87.08	32	34	0	3	1		
計	95.44	449	478	16	46	17		
7	広島中央	99.94	78	80	6	5	3	
	広島廿日市	95.55	33	34	2	2	1	
	広島城南	99.02	44	46	3	3	1	
	広島南	99.35	88	88	0	2	2	
	広島東南	99.96	100	100	13	3	3	
	広島西南	100.00	62	64	3	2	0	
広島西	100.00	81	80	0	1	2		
計	99.12	486	492	27	18	12		
8	江田島	89.46	18	16	0	0	2	
	東広島	98.03	33	34	2	2	1	
	東広島21	77.82	18	16	4	0	2	
	呉	92.21	65	68	0	5	2	
	呉東	91.95	32	31	0	0	1	
	呉南	91.26	59	61	3	2	0	
西条	99.81	38	39	3	3	2		
計	91.51	263	265	12	12	10		

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初		当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会	
9	広島空港	85.36	27	27	3	0	0	
	因島	91.75	18	20	0	2	0	
	三原	91.21	60	60	0	1	1	
	尾道	80.35	78	83	2	5	0	
	尾道東	90.82	53	53	4	1	1	
	瀬戸田	80.00	5	5	0	0	0	
竹原	94.53	32	33	4	1	0		
計	87.72	273	281	13	10	2		
10	府中	88.93	26	26	0	0	0	
	福山	95.41	81	79	0	5	7	
	福山東	92.09	48	48	2	0	0	
	福山丸之内	94.89	31	32	1	2	1	
	鞆の浦	89.58	23	24	0	1	0	
	福山REC2710*	99.78	21	22	4	1	0	
計	93.45	230	231	7	9	8		
11	福山赤坂	74.71	48	50	7	2	0	
	福山北	93.13	42	42	0	1	1	
	福山南	87.08	57	60	2	4	1	
	福山西	97.93	40	40	4	1	1	
	松永	90.37	53	53	3	1	1	
	計	88.64	240	245	16	9	4	
12	吉舎	95.22	18	16	0	0	2	
	三次	85.84	39	42	0	3	0	
	三次中央	93.76	44	43	5	0	1	
	庄原	85.36	33	33	4	2	2	
	東城	93.14	19	19	1	0	0	
	計	90.66	153	153	10	5	5	
第2710地区計	90.47	3251	3345	163	193	99		

※正式名称「福山ロータリーEクラブ 2710」

特別コラム 日本のロータリー誕生とわが地区史⑨

地方都市へ急速に拡大

わが国のロータリーは戦後の急速な経済成長とともに拡大・成長していくが、東西冷戦均衡の中で繁栄する世界のロータリー(RI)も目覚ましく発展した。RIは増え続けるクラブの管理が困難と結論づけ、認証順に付されていた番号を1951年6月30日で廃止。因みにわが国では、東京クラブが最初でNo.855、最終が岡崎クラブのNo.7821である。同じ年の7月以降に誕生した大垣、松阪クラブからは番号が付されていない。RI認証番号を持つわが国の名門クラブは戦前の37、戦後の27で、わが地区内では広島クラブ(No.3524)と呉クラブ(No.7751:1951年4月)の僅か2クラブである。

平和を謳歌する中での飛躍的な経済発展に伴い、わが国のロータリーは地方都市へ向け順調にクラブを拡大させ、会員の増強を続け、遂に1996年にはクラブ数2190、会員数は13万名を超え、国際ロータリーで米国に次ぐ会員を有する存在感ある地位を占めた。

反省を込め会員基盤の充実へ

しかし、加熱したバブル経済の崩壊に伴い1998年度より会員数は減少に転じ、以降15年間にわたる重苦しい苦渋の期間を経験する。低迷する経済に加え、過疎化する地方小都市のクラブは、会員の減少に悩まされその存続にまで影響している。遂に2000年には2530地区(福島)の一クラブ消滅のショックが伝わり、

国際ロータリー第2710地区パストガバナー 西村栄時

以後解散や合併でクラブ数が減少し、2003-04年度には2520地区(岩手)と2810地区(宮城)の合併まで生じさせ、RIでの一時の輝きを失っている。

わが国のロータリーは急速な日本経済の発展期に拡大・増強を急ぎ過ぎたのではないか。経済失速の理由のみならず、拡大時にしっかりしたロータリー情報の提供を疎かにしたのではないか。その結果、ロータリーを知らない会員を多くし、会員一人一人の『ロータリー』への関心・愛情・熱意を薄れさせ、自らの組織に自信と誇りを失わせているのではないかと、反省しきりである。

歴代ガバナーを先頭に久しく強力に繰り返している会員増強キャンペーンがようやく功を奏したか、2014年度から減少に歯止めが掛かり、僅かではあるが増強に転じていることは喜ばしい。2016年規定審議会は、クラブの活性を考慮してロータリーの本質さえも揺るがしかねない柔軟性を取り入れたが、われわれ日本のロータリーは単に会員数を整えるだけでなく、クラブの情報提供機能を強化し、職業倫理を重んじるかつての謙虚で誇り高いロータリアンの集う組織を目指し、堅実な会員基盤を造り上げることに、心がけなければならないと思う。

【訂正とお詫び】 2月号(Vol.8)掲載分に一部誤記がありました。正しくは、福島喜三氏が1946年9月17日逝去、ポール・ハリス氏が1947年1月27日逝去です。それぞれ訂正し、お詫び申し上げます。

新会員紹介

 関谷 豊 下関中央RC 2017年12月1日 私立学校経営	 松山 邦彦 下関東RC 2018年1月11日 警備会社ビル清掃・メンテナンス	 新内 竜太 下関東RC 2018年2月8日 分譲マンション販売業	 大本 理恵 小野田RC 2017年12月20日 地方銀行	 津田 賛平 小野田RC 2018年1月10日 弁護士	 吉村 憲和 防府南RC 2018年1月11日 土地家屋調査士	 賀門 武士 防府南RC 2018年1月11日 自動車販売
 眞城 信 山口県央RC 2018年2月6日 保育園	 藤川 幸一 光RC 2018年1月15日 住宅設備工事業	 宮尾 明久 光RC 2018年1月15日 菓子販売	 渡辺 誠 徳山RC 2018年1月18日 合成ゴム製造	 土井 康稔 徳山東RC 2018年1月17日 商業金融	 川本 利幸 岩国西RC 2018年1月12日 電気工事業	 柳崎 茂 岩国西RC 2018年1月12日 リフォーム業
 井手ヶ原 誠 広島東RC 2018年1月10日 索道	 落合 央範 広島東RC 2018年1月10日 航空運送代理業	 松本 文彦 広島北RC 2017年12月7日 弁理士	 沢岡 保 大竹RC 2017年10月24日 造園	 川添 栄子 広島廿日市RC 2017年11月1日 家具加工	 安居院 徳重 広島東南RC 2018年1月22日 総合建設業	 村上 敏浩 呉南RC 2018年1月9日 電気工事
 木村 修二 因島RC 2018年1月4日 文化施設	 中島 康雅 福山RC 2018年1月22日 室内装飾	 内田 隆之 福山RC 2018年1月29日 衣料販売	 藤井 康章 福山丸之内RC 2018年1月15日 司法書士	 新会員名 所属RC 入会日 職業分類	<p>謹んで追悼の意を表します</p> ■ロータリー暦 57年間100%出席 ロータリー財団メジャードナー マルチプル・ボール・ハリス・フェロー ベネファクター 第32回米山功労者メジャードナー 第29代 会長 ■職業分類 百貨店 呉東RC 故 荒角 理宰 殿 2018年2月10日 逝去 (享年100歳)	



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

「純粋親睦」	佐古亮尊 大村北R.C.	2011	2p	回首原点-ロータリーの心を探る(その7)
「ロータリーは思想である」	佐古亮尊 大村北R.C.	2016	6p	回首原点-ロータリーの心を探る(その8)
「なぜ私たちは他人に親切にするのであろうか」	富田 英壽	2017	2p	ロータリーの心をたずねて
「基本に返って、魅力あるロータリーに」	富田 英壽	2017	5p	ロータリーの心をたずねて
「ロータリーはどこへ? -ロータリーの目的と自分の人生の目的のベクトルを合わせる生き方」	刀根荘兵衛	2017	3p	夢を語り、現在(いま)を刷新
「ロータリーとは?」	鈴木 一作	2018	4p	D.2800月信
「ロータリーと持続可能性」	吉田 雅俊	2017	1p	D.2580月信
「柔軟性導入は会員増のソリューションなのか?」	小船井修一	2018	9p	D.2840月信
「五つのテスト?」	玉井 清治	2017	1p	D.2510月信

[上記申込先]
ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp/
 開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日